

からす座

スピカの西、明るい星の少ないところに3等星で作られる四角形を探してみましょう。案外、見つけるのは難しくありません。その四角形が「からす座」です。からす座の四角をなす星は、カラスをはりつけにした際に刺した4つの「くぎ」と言われています。からす座になっているカラスは、太陽の神アポロンに使っていたカラスでした。カラスと言っても白銀の美しい羽根をもち、人間と会話ができたとのことです。アポロンは、テッサリア王の娘コロニスを愛し、幸福に暮らしていました。ところが事情があって離れて暮らすことになりました。

アポロンは、コロニスを安心させるためにカラスに使いをさせて様子を知らせることにしたのです。カラスは毎日二人の間を往復して、それぞれの出来事を伝えたり、伝言をしたりしていました。ところが、ある日カラスは道草をしてしまい、気が付くとずいぶん時間が経ってしまっています。カラスはいいわけに「コロニスは、他の男に心を移してしまっています。」とうそをつきます。怒ったアポロンは急いで我が家に向かい、家の近くに見えた人影を一矢で射殺してしまいました。近寄ってみると、それは妻コロニスだったのです。アポロンはひどくなげき、うそをついたカラスから人間の言葉をうばいとり、カアカア鳴くだけの真っ黒な醜い姿に変えました。そうして、見せしめのために星座として空にあげたということです。このカラスは、すぐ隣のコップ座の水を飲もうとしても届かず、いつも渇きに苦しめられているとも言われています。

(参考図書：全天星座百科：藤井旭著：河出書房新社)

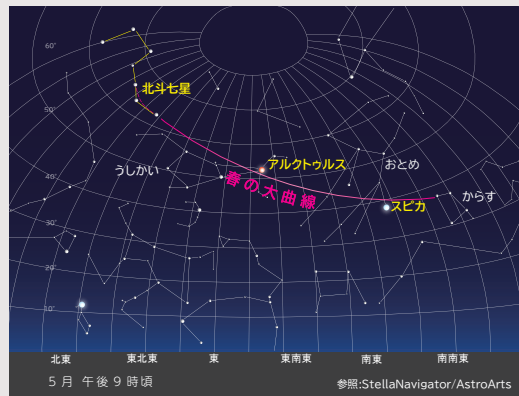


文・浜松市天文台
喜澤 俊輔

今月の見どころ星どころ

春の大曲線

うしかい座の「アルクトゥルス」と、おとめ座の「スピカ」は、春に見える明るい1等星です。「星空を楽しむ」でも紹介されていたように、アルクトゥルスは、「麦星」と呼ばれて親しまれてきました。スピカは、おとめ座の麦の穂先の位置にあります。「スピカ」とは、スパイクにつながる、「とがった」を表す言葉で、輝きが麦の穂のとがった禾（のぎ）のイメージによく合います。「真珠星（しんじゅぼし）」という別名がありますが、これは白く輝くスピカの様子を言い表しています。アルクトゥルスもスピカも麦と関係するとは何とも紛らわしいですが、アルクトゥルスはオレンジ色、スピカは青白色で、星の色の違いを比べるとはちょうどいい星です。北の空で北斗七星を見つけ、そこからアルクトゥルス、スピカをつなぐ線が「春の大曲線」です。北斗七星のひしゃくのカーブに沿って結ぶのがコツです。市街地でも十分たどることができますから、挑戦してください。その先のからす座の四角形まで結ぶことができれば3等星まで見える空ということです。



星空クイズ

1月に日本の月探査機 SLIM(スリム) が月面への着陸に成功しました。これにより、日本は世界で5番目の月面着陸に成功した国になりました。およそ50年前にはアメリカの月探査計画、アポロ計画が行われ6回の月面着陸に成功しました。こちらは有人での着陸です。このアポロ計画では主にアポロ15号、16号、17号で月の石が採集されました。月から持ち帰った石の重さは、全部でどのくらいでしょうか。

- A 約 200g
- B 約 300g
- C 約 400g

答えは中面へ

星空案内

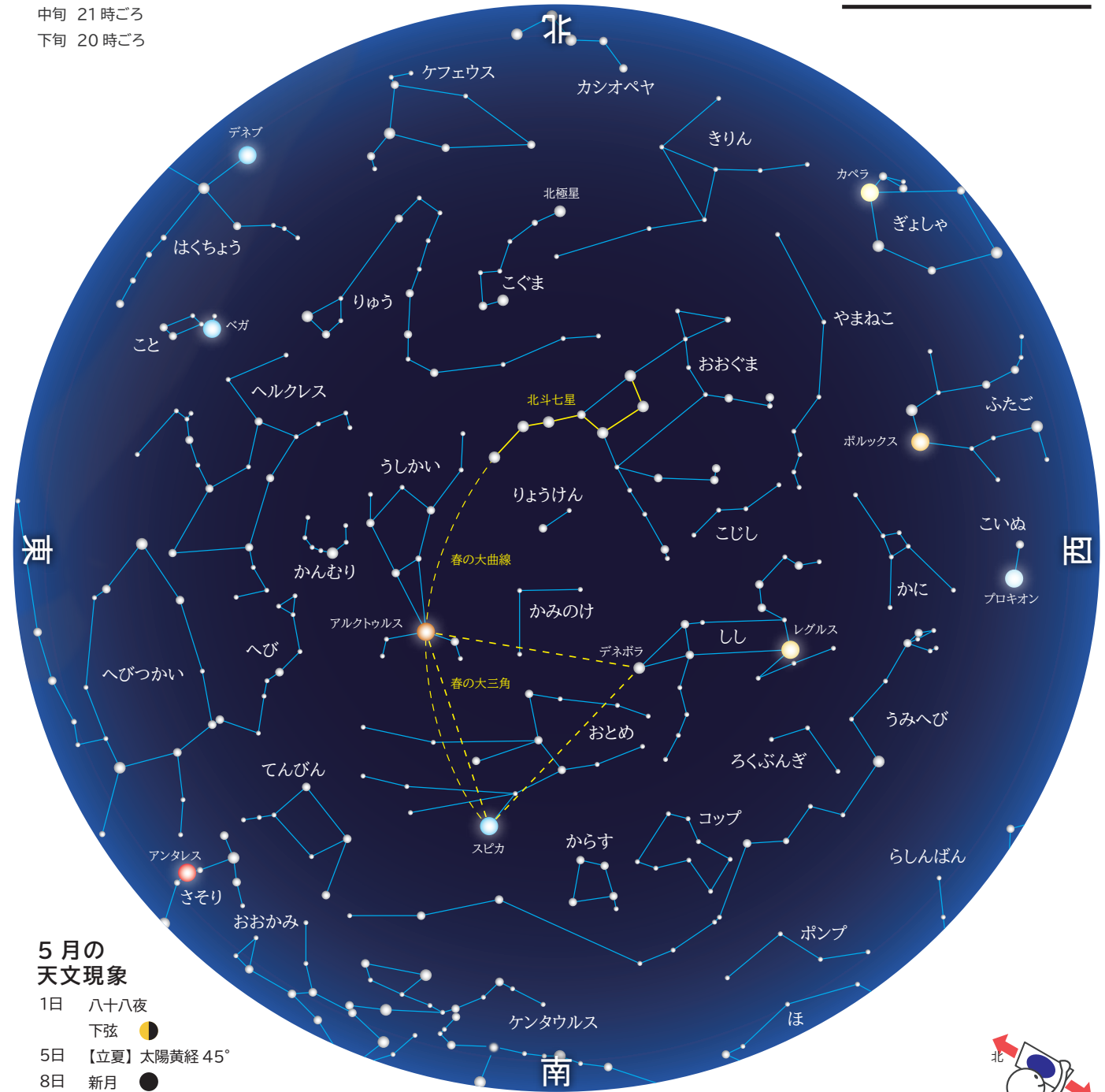
浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

2024年5月

上旬 22時ごろ

中旬 21時ごろ

下旬 20時ごろ



5月の天文現象

- 1日 八十八夜 下弦
- 5日 【立夏】 太陽黄経 45°
- 8日 新月
- 10日 水星が西方最大離角
- 15日 上弦
- 20日 【小満】 太陽黄経 60°
- 23日 満月
- 31日 下弦

5

2024



上の星図は、空にかざして実際の方角と合わせてご覧ください。

5月の和名は「皐月」です。田植えの月という意味の早苗月（さなえつき）が早月（さつき）になったそうです。「さつき」といえば、サツキとメイの姉妹が登場する「となりのトトロ」を思い出します。この二人がお父さんと一緒に、お母さんのお見舞いに行ったのは、田植え休みの日でした。風が気持ちよくなり、夜も寒さを感じなくなってきます。春の星空を楽しみませんか。





浜松市天文台

イベント情報

星空観望会、太陽・昼間の星観望会は予約優先、その他の催しは事前予約制となります。



ウェブサイトはこちら



5/11・18・25 星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

土

NG

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 19:30～21:00 会場 天文台屋上

申し込み 開催日3日前の水曜 13時から受付 (30分ごとと先着20組)



5/12 太陽・昼間の星観望会

日

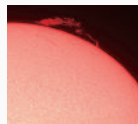
NG

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00

会場 天文台屋上

申し込み 5/8(水) 13時から受付 (30分ごとと先着20組)



5/10 親子天文教室

金

OK

小学生親子向けの天文教室です。お話と観望がセットになっています。

時間 19:00～20:30

会場 2F 講座室

申し込み 5/1(水) 13時から受付 (先着10組)



5/17 スマホ de ムーン

金

NG

スマホのカメラで月を撮影します。月齢9、クレーターが見られるかな。

時間 19:30～20:30

会場 天文台屋上

申し込み 5/8(水) 13時から受付 (30分ごとと先着20組)



5/25 天文講座 「わたしは宇宙から何を学んだか」

土

OK

生き物としての人間と宇宙のかかりについて考える講座です。

時間 15:00～16:30

会場 2F 講座室

対象 中学生以上
申し込み 5/8(水) 13時から受付 (先着15組)



5/11 めざせ!望遠鏡マスター

土

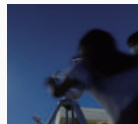
OK

望遠鏡を使って天体を見てみよう!小中学生対象の簡単な取り扱い説明と実習を行います。

時間 18:30～19:30

会場 2F 講座室

対象 小中学生
申し込み 5/8(水) 13時から受付 (先着6人)



5/18 天文ミニ講座

土

OK

星座と当夜の見えるところについて、星のソムリエがやさしくお話いたします。

時間 18:30～19:20

会場 2F 講座室

申し込み 5/15(水) 13時から受付 (先着10組)



裏面のクイズの答え：C (多いと感じますか、少ないと感じますか)

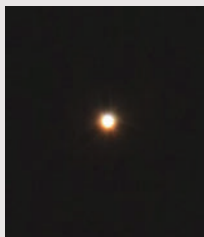
星空を楽しむ

春の一等星アルクトゥルス

浜松市天文台事業協力者の会 織田萌子

春の星座が見頃を迎えていますね。北斗七星の柄のカーブに沿って線を伸ばしていくとオレンジ色の明るい星が見つかります。うしかい座の一等星アルクトゥルスです。アルクトゥルスは『熊の番人』という意味。おおぐま座の後を追いかけていこうに見えることからこの名前がついたそうです。

浜松から見える星の中では三番目に明るい星でありながら意外とその名を知られていないアルクトゥルス。日本では麦の刈り入れ時に見えることから麦星(ムギボシ)とか、梅雨の晴れ間に見えることから五月雨星(サミダレボシ)などと親しまれてきました。またハワイではホークーレア(喜びの星)と呼ばれ、ポリネシアの人達はこの星を頼りにハワイ諸島へ辿り着いたとも言われています。アルクトゥルス、ちょっと長い名前ですが覚えにくい…という方は私流の覚え方ではありますが「歩く」「吊るす」=アルクトゥルス=アルクトゥルスなど2つの単語に分けて覚えてみるというのはいかがでしょうか？



望遠鏡で撮影したアルクトゥルス 画像：浜松市天文台



浜松科学館

プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



プラネタリウム	キッズプラネタリウム	大型映像	夜の科学館 特別放映
<p>浜名湖花博 2024 特別放映 花と星めぐり 星に関する花言葉をもつ花を紹介します。花と星のつながりを感じてみませんか? 3/1日・6月16日 14:30～15:25 GW※のみ上映</p>	<p>きらきら こんやのおほしさま 今夜空を見上げると、どんな星や星座が見えていけるかな?みんなでいっしょに星を見よう! 土日祝・長期休暇期間のみ放映 10:30～11:05</p>	<p>すみっコぐらし 広い宇宙とオーロラのひかり 原作：サンエックス 制作：pHスタジオ 配給：D&Dピクチャーズ 4/1～ 土日祝・GW※のみ上映 13:15～13:55</p>	<p>銀河鉄道の夜 15:50～16:40 ※GW…4月27日～5月6日</p>

視界良好! 宇宙の窓が開かれる季節

column

文・浜松科学館 天文チーム 伊藤将宏

春の夜空を見て「今日は宇宙の見通しが良い」と感じたことはありますか?今回は地球の中の話ではなく、銀河のスケールで考えてみましょう。私たちは天の川銀河という銀河の中に住んでいます。天の川銀河は約 2,000 億個の星の集団で、渦巻の円盤状をしています。見る角度によって渦巻の形に見えたり、どら焼きを横から見たような形に見えたりします。そして太陽系は天の川銀河の中心から約 3 万光年離れた場所にあります。太陽系から円盤に対して水平方向、垂直方向と見ると、水平方向は星が密集しているため、見通しが悪くなっています。一方、垂直方向はすぐに銀河の外の景色が広がっているため、見通しが良いと言えます。太陽系は天の川銀河の円盤に対して約 60°傾いています。地球が円盤から垂直方向に位置するとき、季節は春と秋となります。そのため、地球から天の川銀河の水平方向の星の密集地帯(=天の川)が見えないタイミングとなります。天の川銀河の外にある、遠い銀河を観測するには、春と秋が良い時期というわけです。さらに、春の夜空が広がる方向には、おとめ座銀河団、かみのけ座銀河団といった、大規模な銀河の群れがあるため、この時期の夜空は「宇宙の窓」と呼ばれます。一般的には地球(太陽系)が銀河の中心方向を向く、夏の夜空が天の川が濃く見られて魅力的ですが、遠い銀河を観測する人にとっては、春が一番盛り上がる季節と言えるでしょう。

